

研究に関するご協力をお願い

福島県立医科大学保健科学部作業療法学科では、本学倫理審査委員会の承認を得て、下記の研究を実施します。本学における診療情報の利用について、関係する皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

2025 年 8 月

福島県立医科大学 保健科学部作業療法学科 五百川 和明

■ 研究課題名

脳卒中患者における手段的日常生活活動（IADL）の実施に関する予測因子を検討するための後方視的コホート研究

■ 研究期間

2025 年 8 月 ～ 2029 年 3 月

■ 研究の目的・意義

本研究の目的は、先行研究「脳卒中発症後の手段的日常生活活動（IADL）に関する予後予測」（倫理申請一般 2020-119、2020 年 10 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日まで）（以下、一般 2020-119）で収集したデータを活用し、脳卒中の患者さんの発症後 1 年以内の IADL の予後予測因子を明らかにすることです。

脳卒中の患者さんの発症後 1 年以内の IADL 予後を規定する因子が明らかになれば、予後が不良な患者さんに対するフォローアップの方法の見直しや、回復期リハビリテーションにおいて IADL 介入を推進する手がかりになることが期待されます。

■ 研究対象となる方

一般 2020-119 の研究への参加に同意された方です。

1) 脳卒中（脳梗塞、脳出血、くも膜下出血）の診断で竹田総合病院、あづま脳神経外科病院及び北福島医療センターの回復期リハビリテーション病棟に入院し、リハビリテーションを受けた方
2) 1) のうち、2020 年 10 月 1 日から 2022 年 9 月 30 日までの間に自宅へ退院された 20 歳以上の方

■ 研究の方法

本研究は、先行研究「一般 2020-119」で収集した下記の 1) から 10) のデータを用いて、脳卒

中患者の発症後 1 年以内の IADL の予後予測因子等について検討します。

- 1) IADL 評価：Frenchay Activities Index (FAI)
- 2) 対象者属性（年齢、性別、利き手）
- 3) 医学的情報（診断名、合併症、既往疾患、麻痺側）
- 4) 入院時に実施したリハビリテーションにおける IADL 介入の有無
- 5) 入院前の生活状況〔日常生活自立度（modified Rankin Scale）、IADL（FAI）〕
- 6) 個人因子（本人の希望、趣味・興味、仕事歴・役割）
- 7) 環境因子（同居家族人数、配偶者、家族の希望、日中の支援者）
- 8) 心身機能
 - ① 運動麻痺：Brunnstrom Recovery Stage
 - ② 感覚機能障害の有無と程度
 - ③ 高次脳機能障害の有無
 - ④ 音声・発話障害の有無
- 9) 認知機能評価：改訂長谷川式簡易知能評価スケール
- 10) 日常生活活動能力：Functional Independence Measure (FIM)

■ 試料・情報の利用を開始する予定日

2025 年 9 月 1 日

■ 研究組織

この研究の研究事務局は福島県立医科大学保健科学部作業療法学科であり、研究責任者は作業療法学科 五百川和明です。集められた情報の管理責任者は福島県立医科大学学長 竹之下誠一であり、それらの情報は福島県立医科大学保健科学部作業療法学科で利用し解析を行います。

■ 他の機関などへの試料・情報の提供について

他の機関などへデータを提供することはありません。

■ この研究に関する問い合わせ

この研究に関して質問などございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象の方の個人情報や知的財産の保護などに支障がない範囲で、研究計画書や研究方法に関する資料が閲覧できます。

また、試料・情報がこの研究に利用されることについて、研究対象者ご本人または代理の方にご了承いただけない場合は、研究対象者とはせずに試料・情報の利用や提供はいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人または代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果がすでに医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合は、データを取り消すことは困難な場合もあります。

問い合わせ先

〒960-8516 福島県福島市栄町 10 番 6 号

公立大学法人福島県立医科大学保健科学部作業療法学科 担当：五百川和明

電話：024-581-5558 FAX：024-581-5558

e-mail：iokawa@fmu.ac.jp